

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜北高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年5月29日(月) 13:30~15:00
- 3 開催場所 岐阜北高等学校会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長 副会長 委 員	村瀬 忍 若山 桂子 澤井 隆彰 高橋 進 西川 光美 古田菜穂子 山下 真史	岐阜大学教授 PTA会長 人材育成コンサルタント 則武自治会連合会顧問 令和3年度PTA会長 同窓会代表(北斗会顧問) (欠席) 岐阜青年会議所専務理事
学校側	鈴木 健 土田 修三 日下部 光 中川 牧子 舘 紅仁子 坪内有美子 若狭 幹大 小枝 千穂 高橋 淳 山田 知史 河合 恵哉 山田 雄太	校長 教頭 教頭 事務部長 教務副主任 進路指導部長 生徒指導部長 特別活動部長 保健厚生部長 図書部長 総務渉外部長 カリキュラムデザイン部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 授業参観について

意見1: 授業で使われている補助プリントがとてもよかった。カラー刷りでグラフも見やすく、生徒の理解を深めるのに役立っている。知識だけを問うものではなく、思考力・判断力を養う内容になっており、素晴らしい。

意見2: 英語(コミュニケーション英語Ⅲ)の公開授業について、公開するのは英語科の教職員に対してだけなのか。また、公開授業後のフィードバックについてどのように行っているか。

⇒全教職員が対象である。また、公開授業後は生徒にアンケートとり、自己評価を

したうえで教頭へ報告書を提出している（年2回実施）。また、英語科では、授業を参観した教員が感想やアドバイスなどを述べるなどの機会も設けている。

意見3：小中学校の授業ではすべての生徒がタブレット端末を机上に準備しているが、本校ではタブレット端末を利用する生徒が少ないのではないかと。

⇒授業の形態によって大きく異なる。本日観ていただいた3年次での受験を想定した授業では利用すること少ないが、1年次の授業では利用が多く殆どの生徒が活用している授業（情報Ⅰ・探究学習）もある。

(2) 令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画について

意見1：「学校案内」の生徒会長の言葉を読み、チャットGPTが議論されているが、第3の選択肢を自分たちで考えるのが大切だと言っており、私も同じ考えである。ただ、作文なども簡単にできてしまうという問題が課題としてある。学校としてどのように考えているか。自分は、就活塾を運営するなかで、大学生達がどう使うかを指導している。原稿を作成する際にチャットGPTに入れて第3の先生のように利用する方法も有るので、授業での利用を提案したい。

⇒学校として議論はまだしていないが、使いこなさなければいけないと考えている。情報を集める有効な手段ではあるので、正しく利用する方策を見極める力を付けることが大切だと考えている。

意見2：探究学習の1年次第2期はメンタルヘルスについてというテーマにしていたが、昨年度と同じか。新しい取組みか。

⇒今年度は、第1期はミニ探究、探究の手法を学ぶという内容で、本校の魅力ある風景を探して中学生向けにプレゼンを作成する（先週終了）。第2期は進路探究、自己への眼差しという内容で、どんな学問に適性があるのか、学級内で発表する。第3期は地域探究、岐阜県内の課題を見つけ解決する。今年度は岐阜県の指定事業として「ふるさと魅力体験事業」があるので多治見方面、関ヶ原方面、揖斐川方面の3方面に実地体験に赴く。その後、2年次のSDGsに繋げていくことになる。

意見3：情報Ⅰの授業で「チャットGPTの教育での利用について」や「SNSでの実名の公表について」生徒同士ディベートをしたとのことだが、実際にはどうだったのか。

⇒生徒の作った論文は全教職員で共有できるようにしている。ディベートをするうえで大事なことは、当事者意識をもつことと想像力を働かせることである。生徒は楽しく取組んでいたと聞いている。

意見4：多様性という言葉があったとおり、様々なニーズを敏感に感じて汲み取らないとビジネスが成り立たない時代である。様々な人の意見があることを理解したうえで倫理観を養って先程のチャットGPTなどを使えば、それ自体が答えをくれるわけではなく示唆をしてくれるので、それを使ってどうするかが人間の課題だと思うのでディベートはとても大切である。我々の時代にはなかったというか、ディベートをしてもYES or NOとか勝ち負けが多かった。現在もそのようなことがあるかもしれないが、今は、インプットはスマホなどでどこでもできるので、アウトプットが重要になっていく中で、自分から発信したり主体的に議論したりするディベートはよい。

意見5：生徒主体の教育をしており、素晴らしい。大学に入学しても、柔軟な思考力ができなくて、すぐに心が折れて続かない学生が多い。何らかのサポートしないといけないということが最近の状況である。本校で、このような取組みをしているということがあれば教えて欲しい。

⇒手厚いサポートが大切であると考えている。悩みが吐露できるような環境を作りたいと考えており、県からの予算で教育相談室を支援スペースとして誰でも来室

できる環境に変えている。大学生がこうでなければならぬと思ひ込み、柔軟に対応できないというが、高校でも同様の課題があると思う。

意見 6 : 保護者の立場で様々な面で本校の教育にはとても感謝している。連絡ツールのクラッシーを通しての保護者への情報発信は、学校での様子がよくわかるので助かっている。本日学校経営についてよく知ることができたので、保護者の皆さんに伝えていきたい。よい大学に入るために勉強するというのではなく、人のため日本のためになるよう勉強するということを伝えてほしい。昨年度、学校祭や修学旅行ができたことは大変よかった。何かが起こった時にどうすればよいのかを考えるリスクマネジメントができる生徒を育てる教育をしてほしい。また、メンタルヘルス・心が強い生徒を育ててほしい。

意見 7 : ボランティア活動、学校周辺の清掃などに力を入れていただき助かっている。本校と連携を取りながら、自慢できるような地域にしていきたい。

6 会議のまとめ

- ・第 1 回学校運営協議会において、出席した全委員より今年度の教育指導の重点及び学校経営計画について理解と承認が得られた。
- ・本校に寄せる期待や要望を多く聴くことができる貴重な機会となった。今後の学校経営に生かしていく予定である。
- ・第 2 回学校運営協議会では、「生徒及び保護者によるアンケート」の結果を基にして、本校教育活動に対する指導・助言を集約する予定である。